



No.53

平成31年4月29日発行

おおい町

議会だより

Ohi Town Assembly Official Report



農事組合法人 おおしま村

関連記事 P16

Contents

当初予算	新年度予算の概要……………	2
3月定例会	条例改正・新年度予算について質疑……………	4
一般質問	創生戦略の進捗状況 など5人登壇……………	9
活動報告	出前懇談会など活動状況……………	14
追 跡	佐分利地区の宅地整備 など……………	15

平成31年度当初予算

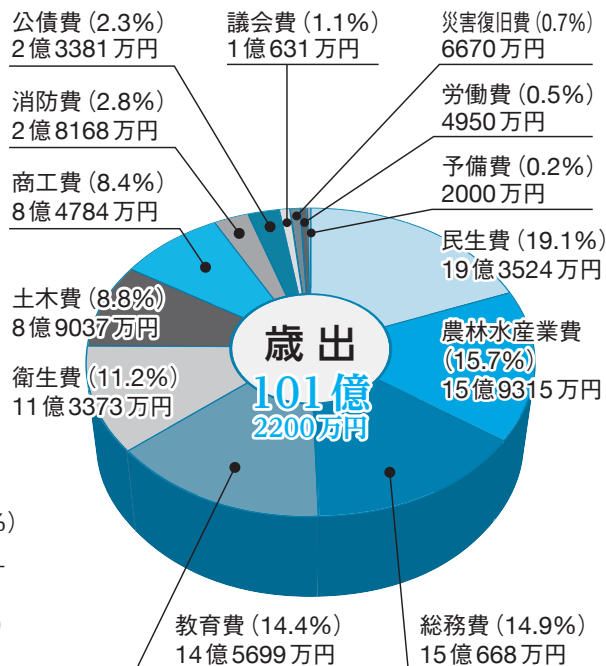
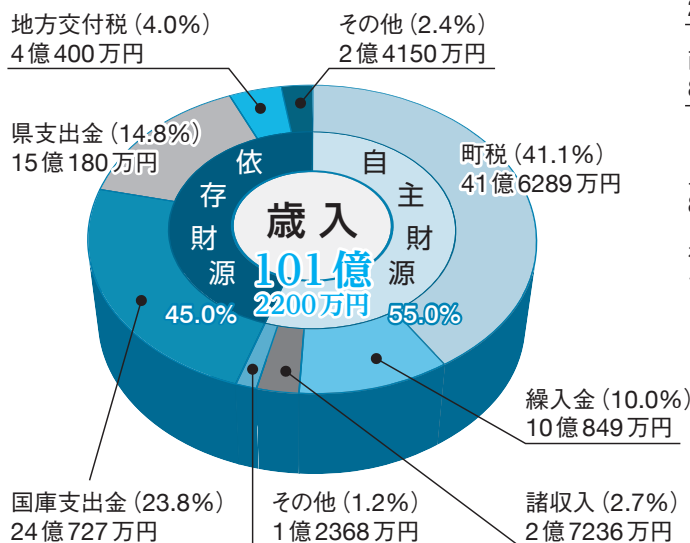
予算総額 130億4749万円

昨年6月補正後と比較して3億545万円の減

一般会計 101億2200万円

特別会計 29億2549万円

■一般会計



■特別会計

会計	当初予算額		
	本年度	前年度(6月補正後)	増減率
後期高齢者医療	9103万円	8831万円	5.2%
国民健康保険	8億3058万円	10億6765万円	0.3%
国民健康保険診療	1億965万円	9693万円	△2.9%
介護保険	9億5486万円	9億4499万円	△0.5%
介護サービス	570万円	522万円	7.6%
簡易水道	4億7464万円	3億3331万円	△17.5%
農業集落	3億3121万円	3億6130万円	3.1%
特定環境保全公共下水道	1億2782万円	1億2294万円	△5.9%
合計	29億2549万円	30億2065万円	△1.5%

■主な原発関連収入 (歳入全体の54.9%)

項目	金額
町税 (うち固定資産税大規模償却資産)	26億7917万円
国庫支出金 (うち電源立地地域対策交付金)	13億6538万円
(うち原子力発電施設等立地地域基盤整備支援事業交付金)	6億1596万円
県支出金 (うち核燃料税交付金)	9億円
計	55億6051万円

用語解説

○一般会計と特別会計
一般会計

地方公共団体において町民サービスの提供をはじめとする、行政運営の基本的な経費を計上している会計です。

特別会計

特定の支出に充てるため、一般会計と区別して経理する必要がある場合に設けられる会計をいいます。

○自主財源と依存財源

歳入は、大きく「自主財源」と「依存財源」に分けられます。

自主財源 (55%)

町が自主的に収入することができる財源(町税など)のことです。

依存財源 (45%)

国や県から交付される財源(国庫支出金など)のことです。

自主財源が多いほど、行政活動の自主性と安定性を確保できるとされています。

注目!

産業団地造成 大飯高浜IC付近で決定!!

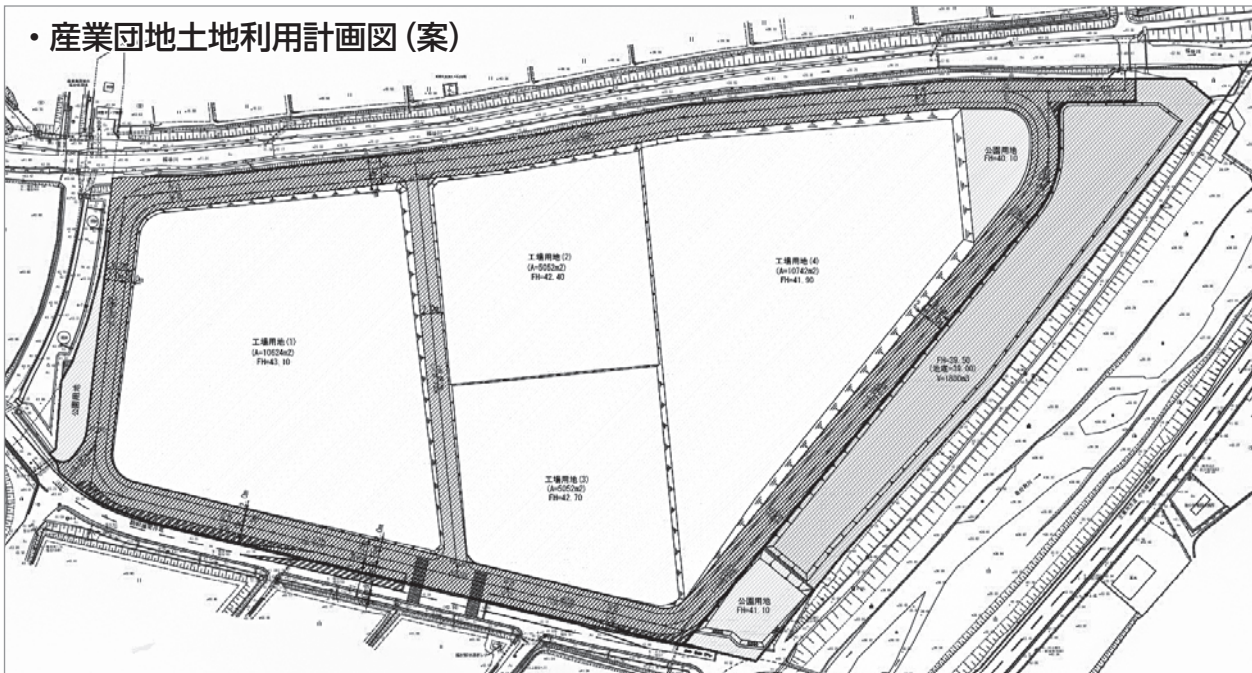
ここに

企業振興対策事業に **3億1098万円** 予算計上

・産業団地計画地（石山地係）



・産業団地土地利用計画図（案）



産業団地造成目的

持続可能なまちづくりを目指す方策の一つとして、産業団地を造成し、雇用の場創出や定住人口の増加を図る。

これまでの経緯

・26～27年度にかけて事業計画を策定し、町内の最も優位性の高い石山地係の選定を行った。

・29年度に候補地及び、その周辺の地質調査と水質調査を実施し、軟弱地盤でないことや佐分利簡易水道水源に影響がないことを確認した。

・30年度には4会場での地元説明会と地権者への説明会を行った。

企業誘致活動

今後は、企業誘致に関するイベントの参加、パンフレットなどで積極的に広報活動を行う。

当初予算

審議内容

一般質問

活動報告

追跡

平成31年 第1回(3月) 定例会 議案審議結果

議案番号	件名	審議・付託	議決結果	参照先
議案 1	平成30年度一般会計補正予算(第5号)	〈全協〉	原案可決	P5
議案 2	平成30年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)		原案可決	
議案 3	平成30年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)		原案可決	
議案 4	平成30年度国民健康保険診療事業特別会計補正予算(第3号)		原案可決	
議案 5	平成30年度介護保険事業特別会計補正予算(第3号)		原案可決	
議案 6	平成30年度介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)		原案可決	
議案 7	平成30年度簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)		原案可決	
議案 8	平成30年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第5号)	〈総務〉	原案可決	P6
議案 9	平成30年度特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)		原案可決	
議案 10	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について		原案可決	
議案 11	国民健康保険税条例の一部改正について		原案可決	
議案 12	若州一滴文庫の設置及び管理に関する条例の一部改正について		原案可決	
議案 13	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について		原案可決	
議案 14	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について		原案可決	
議案 15	母子家庭等の医療費助成に関する条例の一部改正について	〈産建〉	原案可決	P6~7
議案 16	企業振興条例の一部改正について		原案可決	
議案 17	農業集落排水処理施設等の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決	P7	
議案 18	平成31年度一般会計予算	原案可決		
議案 19	平成31年度後期高齢者医療事業特別会計予算	〈予算〉	原案可決	P8
議案 20	平成31年度国民健康保険事業特別会計予算		原案可決	
議案 21	平成31年度国民健康保険診療事業特別会計予算		原案可決	
議案 22	平成31年度介護保険事業特別会計予算		原案可決	
議案 23	平成31年度介護サービス事業特別会計予算		原案可決	
議案 24	平成31年度簡易水道事業特別会計予算		原案可決	
議案 25	平成31年度農業集落排水事業特別会計予算		原案可決	
議案 26	平成31年度特定環境保全公共下水道事業特別会計予算	〈全協〉	原案可決	P8
議案 27	工事請負変更契約の締結について(排水改善対策工事)		原案可決	
議案 28	工事請負変更契約の締結について(加入者宅内機器等更新工事)	〈産建〉	原案可決	P8
議案 29	町道路線の廃止について		原案可決	
議案 30	町道路線の変更について		原案可決	
議案 31	町道路線の認定について	原案可決	P8	
諮問 1	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	〈全協〉		答 申
同意 1~14	農業委員会委員の任命について	〈全協〉	同 意	P8
請願 1	全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の実行を求める意見書提出に関する請願書	〈総務〉	不 採 択	
—	議員派遣報告および議員派遣	報告及び派遣		

※略称 〈全協〉 議員全員協議会、〈総務〉 総務常任委員会、〈産建〉 産業建設常任委員会、〈予算〉 予算決算常任委員会、〈原特〉 原子力発電対策特別委員会

賛否が分かれた議案

	細川	原田	早川	藤原	辻	尾谷	森口	猿橋啓	浜上	今川	森内	松井	中本	猿橋巧
議案 11	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	●
議案 18	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	●
議案 20	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	●
議案 24	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	●
議案 25	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	●
議案 26	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	●
同意 9	除	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○
同意 10	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	除	○	○
請願 1	●	●	●	●	●	●	●	●	—	○	●	●	●	○

○は賛成、●は反対 除は除斥 退は退席 欠は欠席 (※浜上議長は採決に加わらない。)

討論

■議案 11

●反対

猿橋 巧 議員

国民健康保険の県下統一に反対する。

■議案 18

●反対

猿橋 巧 議員

消費税増税関連の収支予算や増税に伴う水道料金値上げ、名田庄総合事務所の移転は課題が多い。

○賛成

細川 正博 議員

新たに子育て支援施策の充実が図られており、町民の生活の質向上への予算もバランスよく計上されている。

■請願 1

○賛成

猿橋 巧 議員

全国知事会の提言は当然の要求である。

1回会 31年度当初予算などについて
第1例 質疑を行う

■審議内容

定例会に付議された、議案31件、諮問1件、同意14件、請願1件を審査した。

●議案1号〈全協〉

平成30年度おい町一般会計補正予算(第5号)

9544万6千円減額

総額105億687万1千円とするもの。

〔主な歳出内容〕

○防災対策施設整備事業
役場本庁舎の放射線防護対策工事の調査設計・工事費用。

2億4500万円

■主な質疑

要保護児童対策地域協議会専門職の確保状況は。

慢性的に人材の不足がある中で、有資格者の確保が難しい状

況にあり、現在は保育士の資格を持つ職員が要保護児童対策業務にあたる。

排水路管理事業や園芸産地広域拠点整備事業を31年度に繰り越しているが、工期延長の理由は。

■問

排水路管理事業や園芸産地広域拠点整備事業を31年度に繰り越しているが、工期延長の理由は。

■答

オリンピックや北建築資材の需要量が増えており、工事材料のコンクリート二次製品や鉄骨固定用ボルトなどの入荷に遅れがある。また、国から柔軟な工期設定や繰越予算の活用を図るよう

に通知を受けている。

●議案2号〈全協〉

平成30年度おい町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)

320万4千円増額

●議案3号〈全協〉

平成30年度おい町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)

1億7771万2千円 減額

●議案4号〈全協〉

平成30年度おい町国民健康保険診療事業特別会計補正予算(第3号)

339万6千円減額

●議案5号〈全協〉

平成30年度おい町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)

2271万7千円減額

●議案6号〈全協〉

平成30年度おい町介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)

36万3千円減額

●議案7号〈全協〉

平成30年度おい町簡易水道事業特別会計補正予

当初予算

審議内容

一般質問

活動報告

追跡

算(第4号)

440万9千円減額

●議案8号〈全協〉

平成30年度おおい町農業集落排水事業特別会計補正予算(第5号)

240万円減額

●議案9号〈全協〉

平成30年度おおい町特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)

497万3千円減額

●議案10号〈総務〉

おおい町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について

職員の超過勤務上限や超過勤務時間に応じた健康確保措置などを定めるもの。

主な質疑

長時間労働是正として事後的な検証が義務付けられたが、そ

の内容は。

超過勤務の上限時間を超えた場合、その分析を行い、今後の勤務時間の是正や、職員の健康管理を行うもので、運用の中で職員に対する対応や是正を考えている。

【全会一致・可決】

●議案11号〈総務〉

おおい町国民健康保険条例の一部改正について

主な質疑

今後の保険料収入の増加率について、3.84%とする根拠は。

これまで国保税を標準保険料に近づける計画の中で、国保税の急激な負担増加を避けるために、医療費上昇分も勘

案し、年3.5%上昇させる必要があると積算した。

【全会一致・可決】

●議案12号〈総務〉

おおい町若州一滴文庫の設置及び管理に関する条例の一部改正について

施設に「茅舎館」を加えて貸館料金を定めるものの。

主な質疑

団体に複数の部屋を借りるケースが考えられるため、条例の部屋の区切りは細かいのではないか。

団体の規模などを勘案し、少人数から団体の大小それぞれの用途に応じて運用できるように部屋割りを考えたものである。

一滴文庫自体の入館者が減少しているが対策は。

31年度に水上勉先生の生誕100年に向けたイベントや、渡辺淳先生の回顧展など、2人の著名人などを前面に出して宣伝している。

【全会一致・可決】

●議案13号〈総務〉

おおい町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の改正により条例を一部改正するもの。

家庭的保育事業は何名からの保育が対象となるのか。

事業対象となる保育人数は1名から5名である。

【全会一致・可決】

●議案14号〈総務〉
おおい町放課後児童健全

育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

放課後児童支援員の資格要件拡大や基準明確化などの改正を行うもの。

主な質疑

名田庄児童館は、正職員がいないことで管理運営上の不安はないか。

雇用者は元教諭や保育士免許を持つ方などで、指導面における不安はない。

【全会一致・可決】

●議案15号〈総務〉

おおい町母子家庭等の医療費助成に関する条例の一部改正について

「一人暮らしの寡婦」の再定義を行うもの。

【全会一致・可決】

●議案16号〈産建〉
おおい町企業振興条例の一部改正について

対象に「先端的農工商連携施設を活用して農林水産物を生産する企業」などを追加するもの。

主な質疑

国・県補助を受ける施設は、助成対象になるか。

他の補助を受けている施設については、対象とならない。

【全会一致・可決】

●議案17号〈産建〉

おおい町農業集落排水処理施設等の設置及び管理に関する条例の一部改正について

農業集落排水処理区域の「尾内・成海地区」「小堀・成和地区」をそれぞれ統合するもの。

【全会一致・可決】

31年度当初予算審議

●議案18号〈予算〉
平成31年度おおい町一般会計予算

101億2200万円
〔主な歳出内容〕

○頭巾山青少年旅行村管理運営事業

○庁舎管理事業（名田庄総合事務所）

納税組合での収納を今後も続けるのか。

保育料無償化など
の支援策は、国の追いついてきている。新たな支援策は考えていくのか。

管理課の機能を里山文化交流センターに移転することにより、さまざまな問題が考えられるが。

○ペーパーレス議会システム管理事業

施設管理運営費およびホテル流星館浴室棟改修、グラウンドゴルフ場整備、道の駅防犯カメラ設置など。

管理課事務所移転経費や総合事務所の改修工事実施設計。

各納税組合に対し
存続の意向調査を行い、約半分程度の存続希望があった。各組合の意向や個人情報兼ね合いを考慮し、全面的な個人納付への移行は新年度で検討したい。

県や国の助成制度により、町の持ち出しが減少する。斬新なことをするべきとの意見も聞くため、種々検討したい。

里山文化交流センターの公民館事務室に行政機能を置くことを案として考えている。

○防災対策事業

防災備品・備蓄物資の整備、総合防災マップなどの改定、自主防災組織活動の支援など。

○進学サポート事業

大学などに在学する者の保護者などに給付金を支給。

森林環境譲与税が交付されると、現在、交付されている森林整備への県支出金が減額されないか懸念するが。

【賛成多数・可決】
設置調査のため移設時期は異なる。

○妊婦等医療費助成事業

妊婦および産後2ヶ月までの産婦を対象に医療費を助成。

○若州一滴文庫管理事業

管理運営、収蔵庫新築および水上勉生誕100年記念事業。

対象となる機器の広報を行うが、購入前に問い合わせを願います。

【全会一致・可決】
9102万8千円

○予防事業

新規に男性の風しん予防対策や大人の風しん予防接種を実施。

○清掃管理事業

一般廃棄物の適正管理経費や、新たに生ごみ処理機購入経費の一部に対して補助。

【全会一致・可決】
8億3058万4千円

【全会一致・可決】

○耕作放棄地対策事業

養蜂キットの貸し出しと蜜源植物の栽培による耕作放棄対策など。

○簡易水道施設改良事業

東中部統合施設整備や

【全会一致・可決】

【全会一致・可決】

○漁港施設整備事業

宮留防波堤の新設、畑村防波堤の延伸に係る整備費用。

【全会一致・可決】

【全会一致・可決】

【全会一致・可決】

【全会一致・可決】

○頭巾山青少年旅行村管理運営事業

施設管理運営費およびホテル流星館浴室棟改修、グラウンドゴルフ場整備、道の駅防犯カメラ設置など。

【全会一致・可決】

【全会一致・可決】

【全会一致・可決】

【全会一致・可決】

○ペーパーレス議会システム管理事業

施設管理運営費およびホテル流星館浴室棟改修、グラウンドゴルフ場整備、道の駅防犯カメラ設置など。

【全会一致・可決】

【全会一致・可決】

【全会一致・可決】

【全会一致・可決】

○防災対策事業

防災備品・備蓄物資の整備、総合防災マップなどの改定、自主防災組織活動の支援など。

【全会一致・可決】

【全会一致・可決】

【全会一致・可決】

【全会一致・可決】

○妊婦等医療費助成事業

妊婦および産後2ヶ月までの産婦を対象に医療費を助成。

【全会一致・可決】

【全会一致・可決】

【全会一致・可決】

【全会一致・可決】

○予防事業

新規に男性の風しん予防対策や大人の風しん予防接種を実施。

【全会一致・可決】

【全会一致・可決】

【全会一致・可決】

【全会一致・可決】

○耕作放棄地対策事業

養蜂キットの貸し出しと蜜源植物の栽培による耕作放棄対策など。

【全会一致・可決】

【全会一致・可決】

【全会一致・可決】

【全会一致・可決】

○簡易水道施設改良事業

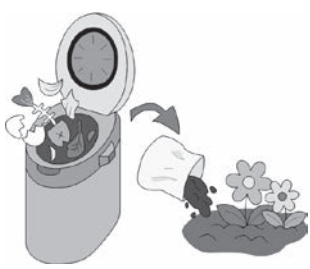
東中部統合施設整備や

【全会一致・可決】

【全会一致・可決】

【全会一致・可決】

【全会一致・可決】



●議案21号〈予算〉

平成31年度おおい町国民健康保険診療事業特別会計予算
1億964万6千円

【主な歳出内容】

○医療用機械器具購入事業
電子カルテとレセプト管理を統合し更新する。

1777万円

【全会一致・可決】

●議案22号〈予算〉

平成31年度おおい町介護保険事業特別会計予算
9548万6千円

【全会一致・可決】

●議案23号〈予算〉

平成31年度おおい町介護サービス事業特別会計予算
569万8千円

【全会一致・可決】

●議案24号〈予算〉

平成31年度おおい町簡易水道事業特別会計予算
4億7463万9千円

【全会一致・可決】

●議案25号〈予算〉

平成31年度おおい町農業集落排水事業特別会計予算
3億3121万2千円

【全会一致・可決】

●議案26号〈予算〉

平成31年度おおい町特定環境保全公共下水道事業特別会計予算
1億2781万8千円

【全会一致・可決】

●議案27号〈全協〉

工事請負変更契約の締結について（排水改善対策工事）

残土処分が最終処分から仮置処分に変更となり減額するもの。
・変更契約額

△240万3千円

・変更後契約額

6509万7千円

・契約の相手方

若丹建設株式会社

【全会一致・可決】

●議案28号〈全協〉

工事請負変更契約の締結について（加入者宅内機器等更新工事）

機器取り替え件数の減に伴い、設置に係る経費を減額するもの。
・変更契約額
△389万690円

・変更後契約額
1億9209万

6910円

・契約の相手方

西日本電信電話株式会社
会社 福井支店

【全会一致・可決】

●議案29号〈産建〉

町道路線の廃止について
町宮長井住宅の整備に伴い、東浜2号線他7路

線を廃止するもの。

【全会一致・可決】

●議案30号〈産建〉

町道路線の変更について
町宮長井住宅の整備に伴い、東浜1号線の線形、延長の変更を行うもの。

【全会一致・可決】

●議案31号〈産建〉

町道路線の認定について
町宮長井住宅整備工事および宅地造成工事に伴う道路4路線について、町道の認定を行うもの。

【全会一致・可決】

●諮問1号〈全協〉

人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
任期満了に伴い次の方の推薦を認めた。

【新任】
森 美津子（名田庄下）
【全会一致・可決】

●同意14号〈全協〉

おおい町農業委員会委員の任命
任期満了に伴い、次の方の任命に同意した。

岩崎 誠一（三森）

桑田 一広（野尻）

古池 洋子（岡安）

塩野 鐘吉（大島）

菅原 節夫（名田庄下）

田中 久博（名田庄拳野）

谷口 浅雄（父子）

早川 和夫（名田庄三重）

細川 正博（名田庄坂本）

松井 厚雄（広岡）

松尾 豊（名田庄中）

松宮 重信（岡田）

渡邊 典子（笹倉）

瀧下 光生（小車田）

【全会一致・可決】

●請願1号〈総務〉

全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の実行を求める意見書提出に関する請願書
紹介議員：猿橋 巧

全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の実行を求める立場から、提言事項を内容とする意見書を国に提出することを求めるもの。

【主な意見】

意見 地元自治体の負担軽減を考え採択すべき。

意見 地方自治体の関わる問題ではないことから不採択とすべき。
【賛成少数・不採択】

3月定例会では、5人の議員が一般質問を行いました。

「おい町未来創生戦略」の成果は

町長 各事業の展開により、人口減少の歯止めがかかっている



森内 正美

いることから、一定の成果は出ている。

問 各事業に対する現在の評価は。

答 (総合政策課長) 目標達成のめどが

問 おおい町未来創生戦略を策定し、さまざまな事業に取り組んでいるが、現状での成果は。

答 (町長) 「女性活躍」「若者仕事」「若者活力」「広域連携」をキーワードとし、成果を計る数値指標を設定し、事業に取り組んでいる。

各事業の展開により、人口減少の歯止めを目指しており、29年度から転入数が転出数を上回っている。

答 (総合政策課長) 情報発信への取り組み強化や、各事業への町民参加促進、^{※1}関係人口増加を継続できる仕組みづくりなどの指摘があった。

問 町内への経済効果がPRなどを積極的に発信する必要がある。情報発信に向けて、今後の展開は。

答 (総合政策課長) 31年度から新たな取り組みとして、各課の職員から構成する、情報発信委員会を設置し、積極的かつ計画的に情報発信を行いたい。

問 都市交流活動支援事業の中で、同窓

答 (建設課長) 5年間で100件の助成目標を掲げたが、現在65件となっている。町の広報紙や暮らしの便利帳、定住者の支援ガイドブックなどの紙媒体とあわせて、ホームページでも

問 掲載している。今後は、定住促進のために、新たなPR方法を模索していきたい。

答 (住民福祉課長) 当町の人口移動の推移で、本年2月1日時点と昨年同時期の比較は。

答 (住民福祉課長) 2月1日時点の町の人口は、8288人で、昨年同時期と同じである。その分析は。

問 (住民福祉課長) ^{※2}自然動態がマインスとなる中、人口を維持できているのは、転入が転出を上回る転入超過の結果であり、当町が進めている、移住・定住の支援や子育てに優しい町づくりの成果が形に表れたものと認識している。

答 (住民福祉課長) 30年度は県の「しあわせ福井実感！婚活応援事業」の補助を受け、県外独身女性を対象に、独身男性の出会いの場を創出する婚活ツアーを実施した。女性7名、男性10名の参加があり、その内1組のカップルが成立した。

当初予算

審議内容

一般質問

活動報告

追跡

答 (住民福祉課長) 参加された方の感想や意見を踏まえ、今後の課題は。

答 (住民福祉課長) アンケートの結果、おおむね好評であった。今後は開催時期や体験イベントなどの企画内容について検討していきたい。

問 移住や観光に来た人ではなく、地域と多様に関わる人々のこと。

答 (住民福祉課長) ^{※2}自然動態 出生・死亡に伴う人口の動き。

^{※1} 関係人口 移住や観光に来た人ではなく、地域と多様に関わる人々のこと。

^{※2} 自然動態 出生・死亡に伴う人口の動き。

出生・死亡に伴う人口の動き。

進学サポート給付金制度の創設の経緯は

町長 町独自の進学支援制度の検討を行った結果実施するものである



原田 和美

問 この事業は未来創生戦略事業のひとつとして、若者のUターンに結び付くと思うか。

答 (町長) サポート給付金事業だけでなく、Uターンを考えるのではなく、町のさまざまな子育て支援事業と結び付けての中で移住・定住を増やす総合的な取り組みという考え方に立って行うものである。

問 大学等に進学する学生に対し月額2万円の給付金を支給する「進学サポート事業」は、どのような検討により実施されるのか。検討の経緯とこの事業の位置づけは。

答 (町長) 国では、大学無償化や奨学金の拡充が検討される中で、本町独自の進学支援制度について検討を行った。その中で、子育て支援政策の最終形としての位置づけで進学へのサポートを行うものである。

問 この事業の実施には年間約5700万円が必要になる。この費用の一部を他の子育て事業の保護者負担金に充ててはどうかという意見もある。経費に対する事業効果や、子育て支援全体からみた経費の使い方についてどう考えるか。

答 (学校教育課長) 子育て支援全体の中での投資的な経費であり無駄な経費とはなっていないと考える。

問 既に奨学金を借りて進学し地元に戻った学生への支援は。

答 (町長) 町としてどういう手立てを講じる必要があるかを検討していきたい。

問 進学サポートを利用せず、高校を卒業して地元就職する生徒に対し、就職のお祝いのようなことは考えないか。

答 (町長) お祝いにはさまざまな機会を通じて検討していくことが必要と考えている。

問 サポート給付金の支給にあたって、運用や手続きの流れは。

答 (学校教育課長) サポート給付金の給付は年2回で、下期に分けて申請を受け支給を行う。

問 この事業の広報は。

答 (学校教育課長) 広報紙やホームページでのお知らせと、全戸配布のチラシを年に3回予定している。

問 給付金の申請や請求について、学生本人の関わりは。

答 (町長) 申請と請求は保護者が行うことから学生本人とのつながりを作っていくことが重要で、学生への情報提供に取り組む必要がある。

問 留学時こそ経費が掛かるが、留学の取り扱いは。

答 (町長) おおいサポート制度との連携や、学生の学びや得意分野での町との取り組みなどを考え構築していくことで町と学生双方に有効なものとなるよう考えていく。

問 この事業は5年間を区切りとしているが、継続を検討するための事業効果をどう図るのか。

答 (教育長) 具体的にはUターン者の増加といった数値だが、この効果は中長期的な検証が必要である。アンケートでのUターンの意向や意識確認もひとつの方法と考えている。

問 学生の学びを町に伝えてもらう、学生におおい町大使になってもらう、政策コンテンツに参画してもらうなど、学生から町への反対給付についてどう考えるか。

答 (町長) おおいサポート制度との連携や、学生の学びや得意分野での町との取り組みなどを考え構築していくことで町と学生双方に有効なものとなるよう考えていく。

問 進学サポート事業をUターンやまちづくりにつなげるためには担当課のあり方を考えるべきではないか。

答 (町長) 関係する課、部署が連携を取りながら効果を上げるために努力をするべきと考えている。

問 進学サポート制度の今後の方向性についてどう考えているか。

答 (町長) 他のさまざまな制度についても、同じであるが、一定の周期を決めて見直しをかけ、検証した上で継続か否かを判断する方向である。

安全で安心して子育てできる町を目指し、治安の向上に努めるべきでは

町長 しっかりと取り組む



辻 徹

街頭防犯カメラの設置について

警察署から各区の区長あてに、女性や子供に対する犯罪防止のため、防犯カメラの設置を勧める書面が配布された。

問

警察署から各区の区長あてに、女性や子供に対する犯罪防止のため、防犯カメラの設置を勧める書面が配布された。

答

各区に設置する防犯カメラに対し助成を考慮しているかどうか。

問

は、犯罪の起きにくい町づくりの観点から、街頭防犯カメラの設置を推奨している。必要な費用については、町民指標活動支援事業交付金を活用していただきたい。

答

余裕のある区、余裕のない区さまざま

問

まあり、防犯カメラの効果を考えて、各区同時に設置することが望ましい。やはり助成制度を検討すべきではないか。

答

は犯罪抑止を目的とした、防犯カメラへの設置補助のあり方を検討中だと聞いている。今後は県の動向を見ながら、町として検討していく。

問

ドライブレコーダー設置について

昨今、ドライブレコーダーによる事故状況の解明や偶然映り込んだ映像による事件の解決した例が全国にある。防犯カメラを補強する観点から、警察の捜査に協力することを条件にドライブレコーダー設置に助成してはどうか。

答

は、ドライブレコーダーについては、自主的に取り組んでいるすばらしい活動である。自分たちの地域は、自分たちで守るといふ、そんな自主的な活動が、高揚してくるとありがたい。今後、国の制度を含めて、しっかりと検証しながら考えていく。

問

町では計画的に防犯灯の設置を進めているが、学校周辺やバス停など暗いところが多くある。特に中学生は、クラブ活動を暗くなるまで行うことがあり、中学校周辺には重点的に防犯灯を設置することはできないか。

答

中学校前の横断歩道にLED灯を2基新設、12月には名田庄中学校周辺の蛍光灯6基を全てLED灯に交換した。

問

大飯中学校下で迎える場所は非常に暗く、そこから岡田サンガードに続く川沿いの道も、

答

真つ暗な状況である。対策が必要ではないか。

問

台湾と交流を進めるため、2月に町長が台湾新北市を訪問したが、今後どのように交流を進めるのか。

答

大イイベントである、ランタンフェスティバルに招待され、参加した。新北市では、管轄する淡水区内の一滴水記念館を中心とした、おおい町若州一滴文庫との交流に対し、しっかりとバックアップしていく旨の話をいただいた。

問

台湾と交流を進めるため、2月に町長が台湾新北市を訪問したが、今後どのように交流を進めるのか。

答

大イイベントである、ランタンフェスティバルに招待され、参加した。新北市では、管轄する淡水区内の一滴水記念館を中心とした、おおい町若州一滴文庫との交流に対し、しっかりとバックアップしていく旨の話をいただいた。

問

台湾と交流を進めるため、2月に町長が台湾新北市を訪問したが、今後どのように交流を進めるのか。

答

大イイベントである、ランタンフェスティバルに招待され、参加した。新北市では、管轄する淡水区内の一滴水記念館を中心とした、おおい町若州一滴文庫との交流に対し、しっかりとバックアップしていく旨の話をいただいた。

問

大イイベントである、ランタンフェスティバルに招待され、参加した。新北市では、管轄する淡水区内の一滴水記念館を中心とした、おおい町若州一滴文庫との交流に対し、しっかりとバックアップしていく旨の話をいただいた。

大イイベントである、ランタンフェスティバルに招待され、参加した。新北市では、管轄する淡水区内の一滴水記念館を中心とした、おおい町若州一滴文庫との交流に対し、しっかりとバックアップしていく旨の話をいただいた。

若者の雇用・正社員雇用に対する支援策を

町長 効果のある事業や制度について検討していきたい



尾谷 和枝

地元で就職する若者に対する支援の充実を

問 少子・高齢化、人口減少課題に対する解決策や、町の発展において、若者の定着が必要である。地元で就職する若者に対する支援の充実が必要ではないか。

答 (町長) 地元に残っていただくための支援として、地元就職を希望する若者に対し、地元企業とのマッチングを行う「ふるさとジョブ

フェア」を嶺南6市町合同で開催している。また、地元に残る若者に対しては、結婚、出産、子育て等、生涯にわたる切れ目のない町独自のさまざまな支援策を設け、充実を図るよう取り組む。

問 町には結婚や出産、喜寿、米寿など、人生の節目のお祝いがある。町在住の若者が進学サポートを利用せず就職をし、納税者となり、町を支えてくれる担い手となった節目に就職祝いを贈ってはどうか。

答 (町長) 多くの支援制度は、自己負担に対してその負担を和らげる軽減の制度であるが、節目のお祝いはそれ

若者の雇用・正社員雇用について

とは全く趣を異にしたものである。今後、その有効性などを検討していくことが必要である。

問 町で育てた子供たちが帰ってくるには、受け皿として、正社員雇用に対する支援策や働きかけが必要ではないか。

答 (副町長) おおい町未来創生戦略に若者と仕事を創り出す「雇用創出戦略」を掲げて、I・J・Uターン等起業促進支援事業などによる町内での企業支援や産業団地の造成、企業立地助成金などを活用した

新規企業誘致による雇用の拡大を図っている。また、企業振興対策における雇用奨励金として、町内在住者の積極的な雇用を行った事業者に対し1人当たり50万円の助成制度がある。

問 雇用奨励助成金制度の実施状況と、正社員やパート、アルバイトなどの雇用形態条件はあるのか。

答 (商工観光振興課長) この制度を活用しているが、「新規雇用されているが、「雇用保険のある者」という規定のため、雇用形態の規定はない。

問 正社員雇用に対する雇用奨励制度を拡大し、誘致企業への働きかけなどを行うべきではないか。

答 (町長) 雇用を創出した場合の、正社員枠ということも今後

る。企業と若者を結び支援策をしっかりと検討しながら、効果のある事業や制度について検討していきたい。

問 若者が家庭を持つて町に定着するには、安定した職が必要である。現在、町が出資する企業では、採用されてから正社員になるまでの任用期間が長く、この間に諦めて退職するケースもあると聞く。このような状況を把握されているか。

答 (副町長) 町が出資している企業の一部について、契約社員、嘱託社員という形で、年齢制限や条件や本人の希望などをふまえ、一定の期間を経て正社員に登用する形をとっている。それぞれの企業の経営方針に基づき、適切な雇用管理を行っている。

問 若い方は安定した仕事や収入がないことが結婚に結びつかないこともある。町に住みたい、やる気のある若者が、安心して住める状況をつくることも、町が出資している会社の務めでもあると思うが、社長である町長の考えは。

答 (町長) 御指摘の点についてはしっかりと受けとめる。一方で、企業には、退職後地元に戻り就職したいという、幅広い年代の方たちの働く場を提供するという側面もある。全体のバランスもとりながら、個人の希望については極力寄り添った形で実現可能となるよう、今後検討していきたい。

特定重大事故等対処施設の情報は

町長 詳細は不開示とする方が、町民の安全・安心につながる



巧 猿橋

問 原子力政策においては、情報公開が基本であり、秘密があつてはいけない。特定重大事故など対処施設の町民への周知はどうなっているのか。

答 (町長) この対処施設は、テロリズムなどにより、原子炉の冷却機能が喪失し、炉心が著しく損傷した場合に備えて、格納容器の破損を防止するためのものである。設置場所や詳細な設計などを公開すると、システムへの不正な侵入

や、犯罪を誘発する恐れがあることから不開示となっているもので、町民の安全・安心につながる。と考える。

問 1・2号機の廃炉が決まり、今後の財政運営に支障が出てくる。産炭地域振興臨時措置法が5年から40年に延長された例に習い、原子力発電エネルギー転換臨時措置法(仮称)の立法化を提案する。

答 (町長) 石炭産出地域において、石炭産業に代わる産業誘致などによる地域振興策が、一定の効果をあげるまで繰り返し延長された前例を踏まえ、国に対して引き続き、財政的な支援が成されるよう、強く

要請していく。

問 冷却水として海水を取水口から取り入れるとき、浮遊卵や小魚なども混入されるが、影響調査はどうなっているのか。

答 (総合政策課長) 事業者が3年ごとに取水口で試料を採取し、個体数と主な種類を確認する調査をしており、安全協定に基づき結果の報告を受けている。

問 障害者の福祉向上政策の充実を

答 障害福祉サービスで、65歳から介護保険サービスへ移行することは問題が多い。現状と課題は。

答 (介護福祉課長) 当町において、移行した方は28年度に2名であるが、特に問題になることはなかった。今後、それぞれのサービス計画を作成する事業所の専門員同士の連携強化を図り、スムーズな連携が取れるよう支援していく。

問 障害者福祉事業にはない福祉灯油の制度創設や、町内入浴施設サービス券の発行など、充実策が必要と考えるが。

答 (介護福祉課長) 19年度に灯油価格の高騰があり、臨時的に灯油購入費用の一部助成をする事業を行ったが、現時点では考えていない。

入浴サービス事業では、それぞれの障害における特性やその方のプライバシーなどに配慮する必要があるので、当事者団体や親の会、家族の会

答 (商工観光振興課長) 古民家や蔵をアトリ工として構え、それが地域の活性化に貢献している事例はあるが、住民が主体となった活動での成功事例が多い。そのような機運が高まれば、インフラ整備の必要性も検討していきたい。

問 新規起業家などの支援は充実しているが、本郷地区にある商店街の活性化策が不足しているのでは。

答 (商工観光振興課長) 地元商店に関して、商工会や各種団体と連携した活性化策として、行政ポイントの充実化を図ってきた。31年度からは、「がんばる事業所応援事業」を創設し、中小企業が創意工夫を凝らした販路開拓への支援を行い、活性化を図っていききたい。

問 本郷商店街での芸術、文化分野での賑わい創出を推進し、通りを利用しやすくするため、駐車場や融雪道路などのインフラ整備が必要

と考えるが。

答 (商工観光振興課長) 古民家や蔵をアトリ工として構え、それが地域の活性化に貢献している事例はあるが、住民が主体となった活動での成功事例が多い。そのような機運が高まれば、インフラ整備の必要性も検討していきたい。

問 正規職員などの非正規職員対策について

答 (副町長) 適正な公共サービスのあり方や、自助・公助・共助による業務量の見直しなどとあわせ、非正規職員の待遇改善などに努めたい。

を、非正規職員で補っている現状を改める必要がある。

ごみ焼却施設などの環境問題について意見交換

議員出前懇談会

【期 日】 2月20日

【出席議員】 今川直樹 中本 茂

猿橋啓一 藤原義隆

原田和美

【ご 注 文】 高森企業対策協議会様

「高森企業対策協議会」は、高浜町高森に立地する企業施設や、現在、若狭広域行政事務組合が高浜町和田地区で計画している広域ごみ焼却施設にかかる環境問題について、情報開示や安全対策、周辺地域の環境保全を図ることを目的に活動されています。

広域ごみ焼却施設の計画の経緯や、進捗状況について、また、おおい町環境基本計画について、さまざまな質疑と意見交換を行いました。

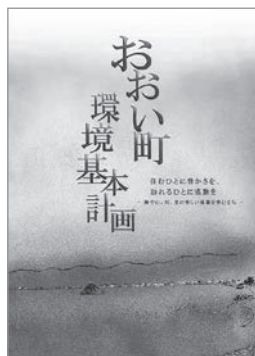


高浜町清掃センター

質疑や意見交換の主な内容

- ・広域ごみ焼却施設が高浜町和田に建設されることの経緯について
- ・環境アセスメント終了後の計画について
- ・広域で計画している、広域ごみの中間施設(分テライト)、広域斎場、不燃物等最終処分施設について
- ・おおい町環境基本計画について

※おおい町環境基本計画は、環境問題を解決するために、町民、事業者、町が連携して取り組むための基本的な方策を定めたものです。計画期間は平成20年度から31年度で、今年度は、今後の新たな計画策定に向けて、策定業務が行われます。



発電所の免震事務棟の構造について現地説明を受ける

原子力発電対策特別委員会 研修報告

【期 日】 2月27日

【場 所】 関西電力(株)大飯発電所

原子力発電対策特別委員会は、免震事務棟や緊急対策所の建設状況、土砂運搬の状況などを現地視察し、確認しました。

完成したばかりの免震事務棟においては、内部を視察しました。

地上3階地下1階の免震構造の建物で、まだ機材は何も設置されていませんでしたが、宿直室や会議室、倉庫、医務室などを視察し、地下の免震装置の説明を受けました。



質疑応答の内容

【問】 特定重大事故等対処施設は、いつ頃完成するのか。

【答】 34年8月の予定

【問】 緊急時対策所は低い位置にあるように感じるが津波は大丈夫なのか。

【答】 基準津波の高さが6.3mのため、海拔9.2mの位置に建設している。

追跡

あれから どうなったの？

a follow-up survey

議会だよりでは、定例会での一般質問の要旨を掲載していますが、議員からの提案などが、その後、どのように町政に反映されたかを、追跡調査してみました。

審議内容

一般質問

活動報告

追跡



台湾との文化交流を進めては

台湾新北市淡水区に水上勉先生ゆかりの「一滴水記念館」がある。この施設を利用して交流をしてはどうか。(平成29年3月議会 細川正博 議員)

町長答弁

交流を深める良い機会と考える

おい町と台湾とのストーリー性のある話で、交流を深める良い機会と考える。さまざまな方と連携し、今後、検討したい。

どうなった？

「水上勉生誕100年」に合わせ、文化交流をスタートする

31年2月19日に町長が、新北市と淡水区を表敬訪問し、これからの交流について会談した結果、交流を進めることとなる。



台湾表敬訪問時の状況



解体撤去される職員宿舎など



佐分利地区に分譲住宅地の整備を

住宅整備に前向きに取り組むとのことであったが現在の状況と今後の計画は。(平成30年3月議会 藤原 議員)

町長答弁

必要性については認識しており検討する

佐分利地区区長連絡協議会からの要望、提案などもあり、検討を進める。

どうなった？

住宅地整備を段階的に進める

旧JA若狭 佐分利出張所及び職員宿舎石山寮を解体し住宅地として整備する。

輝く人

土と共に生きる



農事組合法人 おおしま村
吉田 幸太 さん

吉田さんは、大学卒業後JAに就職、おおしま村のグループの丹波村に転職され、おおしま村設立とともにおい町大島に來られました。現在は一次産業活動拠点施設志摩豊夢で生活されています。

- Q 農業経験はどれくらいですか？**
A 大学卒業後JAに4年間、丹波村に9年間在籍していました。
- Q おおい町に來られたきっかけは？**
A 京丹波町の山中で育ち、海にそこがれがあり



- ました。
- Q 農業の苦勞はありますか？**
A 植物の生育は待つてくれないので、植物に振り回されています。自然災害も不安です。昨年はビニールハウスが台風で飛ばされました。獣害も深刻です。
- Q 農業の楽しさは？**
A どうしても病氣と獣害はついてまわるので、それを乗り越えて、思い通りの作物がたくさん収穫できた時は、本当にうれしいです。
- Q 志摩豊夢の住み心地は？**
A 今まで住んできた宿舎で一番快適です。洗濯機があり、お風呂がきれいで、冷暖房完備、夢のようです。
- Q おおい町の印象は？**
A 福祉関係が充実していると思えます。立派な施設もたくさんあります。大島のみなさんの人間性が良く、暮らしやすいです。
- Q 将来の夢は？**
A 農業の指導員になり、後に続く若者を育てていきたいです。

議会の傍聴にござんせ

行政ポイント100P
発行事業です

おい町議会では、本会議をはじめ議員全員協議会や各委員会も公開しています。次回の定例会は6月です。傍聴について詳しくは議会事務局（77-4060）までお問い合わせください。

6月定例会
の予定

- 会期**：6月11日から25日まで（15日間）
本会議：11日（議案提案理由説明）、20日（一般質問）、25日（採決）
委員会：総務・産業建設常任委員会（13日）、予算決算常任委員会（11日）、原子力発電対策特別委員会（14日）

編集後記

平成最後の議会だよりをお届けいたします。編集を行っている私たち広報委員にとっても、今任期最後の発行となり、大変感慨深いものがあります。

議会に対するアンケートなどでは「議会の活動が分からない、議員が何をしているのかが見えない」というご意見をいただくことから、議会を知ってほしい、もっと身近に感じてほしいという思いで、まずは「手に取っていただける議会だより」をめざし、読んでもらえる紙面づくりに努めてきました。

平成の30年間にはおい町でもさまざまな出来事がありました。新しい令和の時代が、町民の皆さまにとって、希望溢れるものとなりますように。

（原田 記）

広報特別委員会委員

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 細川 正博 |
| 副委員長 | 原田 和美 |
| 委員 | 尾谷 和枝 |
| 〃 | 辻 徹 |
| 〃 | 藤原 義隆 |
| 〃 | 早川 正己 |